

## セミナー展示会

オリジンにとっては恒例のセミナー展示会を11月2日札幌、8日東京、10日大阪で開かせて頂いた。東京は1995年以来16回目、大阪では1998年以来13回目となる。当初はオリジン単独の展示会としてスタートしたが、折角の機会なので、タクシー業に関係する業者に呼びかけ、一緒に



出展をして頂くようになった。タクシーメータ機、無線機、ドライブカメラ、アルコール検知器など様々な事業者が参加して下さり、多少ともタクシー事業者様にお役立て頂いているのではと思う。またセミナーを並催し、その時々の業界が必要とされるテーマについて講師に講演をして頂いた。今年は「タクシー会社」が直面する「労務問題」というテーマで、オリジンと

提携する岡本社会保険労務士に講演をして頂いた。実は今年のセミナー展示会は例年になく参加者が多く、またセミナーへの出席とその関心度が高かったように思う。セミナーでは弊社のスタッフより、今話題の「クラウド」や「スマホ」を使ったGPSAVMなども紹介され、多少の興味をお持ち頂けたと思うが、やはり、もつともタイムリーなテーマとしての「労務問題」

## 清野吉光氏のコラム 第36回

# 団塊 耕 志 録



清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。

## 「世界観と雇用と志」

がセミナーで扱われた事が、その関心の高さの理由だと思われる。歩合割増しの不払いの問題や最低賃金の問題など、労務監査や労組との関係などで課題を抱える事業者が多くなり、その対応策の参考とするために参加して下さった方が多かったのではないだろうか。セミナーに参加して頂いたお客様に書いて頂いたアンケートでも幸い非常に好評で、このような機会をもっと設けるよう要望があった。

### 経営支援事業部の再出発

実はこのコラムでも書かせて頂いたように、オリジンでは2009年9月より経営サポート事業部を設立し、事故防止や運行管理者向けセミナーなど、様々なサービスメニューをタクシー事業者向けに提供させて頂いて来た。しかし不本意な事に本年6月にトラブルが発生し、サービスの提供が不可能となり、経営サポート事業部の活動を凍結せざるを得なかった。お客様に

も大変ご迷惑をおかけし、申しわけない事態に至ってしまった。しかし、お客様にお詫びに回る中で、今回の事態に真に責任をとるためには、凍結したサービスを再開し、お客様のニーズに応える事だとして指摘を頂いた。まだまだ十分とは言えないが、多方面の関係者の方にご協力を頂き、またオリジンのシステム関係の責任者であった河村次長を責任者にして、10月1日に「経営支援事業部」としてこのサポート事業を再開する事となった。講師陣には労務管理、事故防止、接遇、アルコール検知器、疲労科学、地域公共交通、観光、実践心理学など十人に及ぶ方を迎え、タクシー業界のニーズに応じて行くための体制を整えた。

また昨年9月の洛陽交通様、今年7月のつばめ自動車様で行った先進事例の見学&セミナーの企画を恒常化させ、タクシー事業者間の交流を継続、発展させて行く試みに挑戦していきたい。特措法施行の中で「適正化と活性化」を目指すタ

タクシー業界は、今後大きな転換と再編を余儀なくされると思われるが、タクシール業に特化するソフトハウスとして、その面でもタクシール業界の新しい発展にお役に立ちたいと強く念ずる次第である。

### 東旅協活性化プロジェクトチーム

11月9日に東旅協活性化プロジェクトチームが発足した事が、業界紙に報じられていた。プロジェクトリーダーの川鍋日本交通社長が記者会見で、業界活性化の為に「総合生活移動産業」への転換を目指し、まず観光から取り組んでいく旨発表されていた。2006年から2007年にかけて「総合生活移動産業創造に向けて」というテーマで、山内弘隆先生を座長にお迎えして10回のゼミナールを開催させて頂いた自分としては、この会見は嬉しいかぎりである。もちろん会見でも述べられている通り「タクシールの活性化はすぐに忘れられる宿命にある」が、しか

し5年、10年の射程でみると、業界の為にさけて通れないことだと思われる。タクシールビジョン小委員会が打ち出した「総合生活移動産業への転換」というタクシール事業の構想の現実化には課題が山積みだとは思いますが、しかし一方で「市場の失敗」の根拠とされる「流し市場」での選択性の欠如については、IT、とりわけスマホなどの登場、普及により利用者が自分の望む乗務員と車両を任意に選ぶ可能性も出てきている。オリジンの子会社であるタクシールサイトでは、この8、9月とアクセス数が月間五十万人を超えた。殆どアクセス目的が「タクシールを呼ぶ」と「運賃検索」である。今年の2月位までは月間のアクセス人数は三十万人程度であったが、ここへきて急速に伸びており、そして伸びているアクセス数の殆どがスマホからのものである。携帯電話が急速にスマホに転換が進み、そしてGPSや地図などの機能が使いやすくなつて、出先でのスマホからの「タクシール会社検



索」や「運賃検索」が増えたものと思われる。利用者からみれば、自分のスマホで周囲にいるタクシールの検索ができ、そして将来的にはそのタクシールに乗る乗務員さんのランクまで把握できれば、自分の状況に合った選択性が高まる。さらにこのスマホを通じて生活に関わる総合的な「移動」ニーズを簡単に手配、決済できれば利用者の利便性が高まり、利用も増えるのではないだろうか？ タクシール業界が「適正化」＝減車だけではあまりにも寂しい。是非利用者にとっても乗務員さんにとっても経営者にとっても「活性化」につながるサービスメニューとシステムのイノベーションを創造して頂けたらと思う。東旅協活性化プロジェクトチームへの期待は大きい！

### 世界観と雇用と志

これからのタクシール経営を切り開くためには「世界観と雇用と志」が必要なのはと云えば、多分大袈裟だと多くの人がから響きを買いかも知れない。しかし、何十年に渡ってタクシール業の新しい姿を切り開こうと苦闘してきたタクシール経営者とお話をしている、強くこの事を感じた。タクシールの世界からのみ世界を見ていては、そして雇用、とりわけ雇用の質（乗務員さんへのやりがい、いきがい）への強い思いと拘り、そして「持続する志」がなければ、いま業界が必要とする道は切り開けないのではないかとと思う。タクシール業はタクシールの世界だけでは完結しないし、未来も見えない。世界全体の動き、日本全体の動きの中でタクシールの在り方を考えないと、この経営者の世界の広さと深さは理解できない。自分の狭さを恥じ入るばかりである。

(2011年11月21日記)

助かたー  
「iPhoneのGPS機能でお客様の位置を把握し、最短ルートで送迎します。」  
「ありがとうございます。早く迎えに来てほしいです。」  
「はい、すぐにお迎えに来ます。」

「タクチャージ」  
「タクチャージ」  
「タクチャージ」

## タクチャージで

売上  
やりがい  
コミュニケーション  
サービス  
イメージ

# UP!!

「売上UP」の秘密は、ドライバーさんの「やりがい度UP」  
「タクチャージ」は、タクシール専用の携帯電話充電器とお客様へのサービス製品です。ドライバーさんとお客様との気持ちよいコミュニケーションツールとして役立つ。お客様に感謝される事で、ドライバーさんのやりがい度もアップ。  
「タクチャージ」で最新のイメージをアップするとともに、売上アップにもご利用ください。

タクシール車内  
充電OK! TAXCHARGE  
Taxi Charger Japan Co., Ltd.

● 対応機種

1. docomo-FOMA/SoftBank-3G
2. auCDMA/au-WIN
3. ipad, iPhone-3G/4G, iPod (第五世代、classic)、iPodtouch、nano
4. その他miniUSBを使用するゲーム機、デジタルカメラ、携帯型小型PC等

(販売元)  
株式会社システムオリジン  
**03-3834-8352**